

令和7年度「こころの集い」講演会

妖怪人間ベムは、 永遠に笑わない

参加費無料

～生きる意味は間（あわい）に～

日時：令和7年6月19日（木）13:30～15:00(受付13:10～)

会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9階りいぶる会議室C

申込先：和歌山県精神保健福祉協会

電話 073-435-5194 FAX 073-435-5193

メール e0503011@pref.wakayama.lg.jp

講演では、人間の苦しみと言語の関係を手掛かりに「聴くこと」「語ること」の本当の意味を解説していただきます。

また、死生観に伴う命題「生きる意味への問い」について、アニメや文学をモチーフにわかりやすく解説し、さらに人間関係（間（あわい））を端緒としたコミュニケーションのあり方を説いていただきます。

講師 佐藤 泰子 氏



主催：和歌山県精神保健福祉協会 後援：和歌山県

Fax : 0 7 3 - 4 3 5 - 5 1 9 3

送信票不要

申込締切 令和7年6月16日（月）

こころの集い 講演会 申込書

申込先：和歌山県精神保健福祉センター内精神保健福祉協会事務局あて

お名前	ご所属	ご連絡先 (電話またFAXまたはメール)	手話通訳を希望する方は、 ○をつけてください。(※1)
			希望する
			希望する

※1 講演は手話通訳をご利用いただけます。ご希望の方は6月12日（木）までにお申込みください。

【講師紹介】 佐藤泰子氏

(京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・社会・思想講座)

2009年京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士課程修了

京都大学博士(人間・環境学)取得

現在、京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員

京都大学、京都看護大学、聖泉大学、京都経済短期大学等で精神医療史、生命哲学、死生学、医療倫理、コミュニケーション論等の授業担当

コミュニケーション、ケア、倫理、死生観などを研究していくなかで「人が苦しいとはどういうことか」についての解明が必要であることに気づく。そこで「人はなぜ苦しみ、そこからどのようにして新しい1歩を踏み出すのか」を構造的に理解するためのシェーマ「苦しみと緩和の構造」を構築した。「苦しみと緩和の構造」、哲学、倫理学、死生学をもとに援助のあり方を探っている。

<著書>

『死生の臨床人間学 ―「死」からはじまる「生」』晃洋書房

(「死」と「生」を倫理的側面から論じ、援助とコミュニケーションの在り方を追究した新刊)

『苦しみと緩和の臨床人間学 ―聴くこと、語ることの本当の意味―』単著 晃洋書房

『患者の力 ―がんに向き合う 生に向き合う―』編著 晃洋書房

『ヒューマンケアと看護学』共著 ナカニシヤ出版

『メンタルヘルスの理解のために ―こころの健康への多面的アプローチ―』共著 ミネルヴァ書房 等

『High-context cultureにおける「察する」とは何か』緩和ケア11月号2022年 青海社